

事務事業評価調書

事務事業名	青少年クリエイティブセンター施設管理事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室青少年クリエイティブセンター	室課長名	尾高 闊持

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	申請書等様式の見直し											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	青少年クリエイティブセンター											
	結果(どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成を目指す事業や活動場所としての機能を果たし、施設利用者に安心安全な居場所を提供。												
(7) 事業概要	施設や設備の維持管理に係る清掃業務、警備業務、空調設備、エレベーターなどの保守点検委託業務、備品等の管理修繕、運営審議会の開催、運動広場の維持管理、施設利用者の保険加入、公共料金や消耗品購入、非常勤職員報酬支出等の施設管理経費に係る経理事務などを行います。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	8	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		49,332	45,960	48,892	43,028	50,834							
	人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.40						
		総額(B)	千円	12,450	11,921	12,528	12,528	11,438						
	総事業費(A+B)		61,782	57,881	61,420	55,556	62,272							
	特定財源(C)		67	62	65	57	64							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	67	62	65	57	64							
	市負担(D)		61,715	57,819	61,355	55,499	62,208							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		61,715	57,819	61,355	55,499	62,208								
財源計(C+D)		61,782	57,881	61,420	55,556	62,272								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	北大阪興業株式会社										
			②	川重冷熱工業株式会社西日本支社										
		③	アサヒ冷暖株式会社ほか											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 主催事業の参加者数	目標値	(単位:人)	11,454.00	11,454.00	11,454.00
			実績値	(単位:人)	9,960.00	9,037.00	
			達成度(%)		87.0	78.9	
	目標値の積算方法 平成26年度実績(9,960人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.08	6.15	
			一般財源(単位:千円)		6.08	6.14	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 施設利用者数	目標値	(単位:人)	73,000.00	73,000.00
	実績値			(単位:人)	63,854.00	58,887.00	
	達成度(%)			87.5	80.7		
	目標値の積算方法 平成26年度実績(63,854人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.95	0.94	
			一般財源(単位:千円)		0.95	0.94	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
の3が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年が安心して集える場所としての成果を上げている。 活動指標として主催事業・施設利用の参加者数は目標値を下回っておりますが、事業の内容を精査しつつ引き続き継続して事業を実施する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01003				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年クリエイティブセンター	事務事業番号	01003
-----	----------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The outermost line indicates the score for each criterion. The scale ranges from 0 at the center to 20 at the outer edge, with major ticks at 5, 10, 15, and 20. The scores are: 妥当性 (18), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (10), and 持続可能性 (10).</p> <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。 利用者がセンターへ行けば何かを学べ、交流でき安心して集える場所となる努力を継続する必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	青少年クリエイティブセンター施設運営事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室青少年クリエイティブセンター	室課長名	宮野 晃

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正 内容	申請書等様式の見直し											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	0歳～29歳												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成。													
(7)	事業概要	<p>青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、①学習活動の推進(体験活動事業、養成事業、学習支援事業)、②交流の推進(利用者交流事業、教室事業、自主活動支援事業)、子育て支援の推進(人権講座、相談事業、子どもすこやか広場事業)、④情報の提供(情報収集提供、広報誌の発行)を行います。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	10	項	5	目	8	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		13,752	10,627	14,582	11,189	14,055							
		人件費	職員数	人	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50						
			総額(B)	千円	29,050	27,815	29,232	29,232	28,595						
		総事業費(A+B)		42,802	38,442	43,814	40,421	42,650							
		特定財源(C)		119	112	121	358	118							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	119	112	121	358	118							
		市負担(D)		42,683	38,330	43,693	40,063	42,532							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	42,683		38,330	43,693	40,063	42,532									
財源計(C+D)		42,802	38,442	43,814	40,421	42,650									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 主催事業の参加者数	目標値	(単位:人)	11,454.00	11,454.00	11,454.00
			実績値	(単位:人)	9,960.00	9,037.00	
			達成度(%)		87.0	78.9	
	目標値の積算方法 平成26年度実績(9,960人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.00	4.47	
			一般財源(単位:千円)		3.99	4.43	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 施設利用者数	目標値	(単位:人)	73,000.00	73,000.00
	実績値			(単位:人)	63,854.00	58,887.00	
	達成度(%)			87.5	80.7		
	目標値の積算方法 平成26年度実績(63,854人)に対して15%増加	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.62	0.69	
			一般財源(単位:千円)		0.62	0.68	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的として、青少年の健やかな成長と人権感覚の豊かな青少年の育成等の成果を上げている。 活動指標として主催事業・施設利用の参加者数は目標値を下回っておりますが、事業の内容を精査しつつ引き続き継続して事業を実施する必要がある。</p>				

事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	01004				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年クリエイティブセンター	事務事業番号	01004
-----	----------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。 利用者がセンターへ行けば何かを学べ、交流でき安心して集える場所となる努力を継続する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	青少年クリエイティブセンター施設改修事業				
担当部名	地域教育部	室課名	青少年室青少年クリエイティブセンター	室課長名	宮野 晃

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正 内容	申請書等様式の見直し					
(2)	直近の改正	平成24年度							
(3)	根拠法令等	吹田市立青少年クリエイティブセンター条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	4	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	1	細節	40	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	青少年クリエイティブセンター					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	青少年の健やかな成長と人権感覚豊かな青少年の育成を目指す事業や活動場所としての機能を果たし、施設利用者に安心安全な居場所を提供。						
(7)	事業概要	施設利用者の安全性を確保するため、施設や設備の老朽化に対する改修を行います。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	なし			目標	施設や設備の老朽化に対して必要な改修を行う。特に空調設備の老朽化が著しいため、早急な修繕が必要。	
	②	成果内容	なし			達成状況	早急に予算措置を講じ対策する。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		青少年クリエイティブセンターは施設建設後30年以上が経過し施設や設備の老朽化が進んでいる。施設利用者の安全性を確保し、センターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ための様々な事業等の実施や活動に支障のないよう適宜予算措置を講じ改修を行う。					

事務事業分析シート

所属名	青少年クリエイティブセンター	事業名	青少年クリエイティブセンター施設改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01384				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	青少年クリエイティブセンター	事務事業番号	01384
-----	----------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>青少年クリエイティブセンターの設置目的である「すべての人権問題と社会的課題の克服を青少年が自らの課題と受け止め、その解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う」ために様々な事業や取組みを行っており、青少年の人権教育の拠点施設としての役割がある。 利用者がセンターへ行けば何かを学べ、交流でき安心して集える場所となる努力を継続する必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)